

# ホームルビー



## 特徴

- 草丈は低く、50 cm程度で6～7段の果房が着生する。
- 各果房には6～8果の着果があり、果径2～3 cm、1果重は20g前後となる。
- 果房は裂果が少なく日持ち性に優れるため、観賞用としても長期間楽しむことができる。また、完熟果は甘みが強く風味が良いため「見て、作って楽しい・食べておいしい」品種。
- ミニチュアとしての楽しみ方や、家庭・学校での食育教材としても最適。
- 半身萎凋病、サツマイモネコブセンチュウに耐性を持つ。

■栽培適期表

(近畿標準)

地域	月	2	3	4	5	6	7	8	9	10
一般地	播種		●							
	定植			×						
栽培期間				—	—	—	—	—		
収穫期間						■	■	■	■	■

記号説明 ●:播種 ×:定植 —:栽培期間 ■:収穫期間

## 栽培方法

### <種まき・育苗>

トマトの発芽適温は20℃～30℃と高温ですので、播種適期の2月～3月頃では温度が不足しているため、加温設備を用いることが望ましいですが、設備の無い場合は陽当たりのいい窓際など、暖かい場所を選んで種まきを行ってください。種まきは播種用の小さいポット等に行い、最初の花が咲くころまで育苗します。育苗期間は昼20℃～30℃程度、夜は10℃を下回らないような環境が理想的です。水のやり過ぎには注意して下さい。日光をじゅうぶん当てて、しっかりした苗づくりに努めます。接木を行う際、台木はTm-1型を使用して下さい。

### <植えつけ>

初めの花が開花する頃、育苗用のポットから鉢植えやプランター等に移植します。使用する用土は、はじめから肥料成分が施されてある園芸用培土が使い勝手が良いでしょう。

### <整枝・誘引>

本品種は節間が短く、草丈50cm程の矮性非停芯タイプのミニトマトです。脇芽は早いうちに摘み取り、主枝1本仕立てと

します。とくに花房のすぐ下から伸びる脇芽は強く、すぐに大きくなるため摘み遅れないように注意します。

### <追肥>

第一果房が色づき始めた頃に、株元の一つまみ(約5g)の追肥を施します。その後は株の様子をみながら2週間おきに行ってください。

